

学校だより あしたか

富士市立吉永第二小学校 令和6年2月

臨時号②



前号に続き、学校運営協議会の皆様からいただいたご意見と本校教員の後期学校アンケート結果を報告させていただきます。

※令和6年2月発行「学校だよりあしたか臨時号①」をご覧になりながら、ご意見をいただきました。

「授業が分かる」児童 93.3%、保護者 94.9%とかなり高い数値になっている。「分かる」とは、子供たちのどのような様子のことか。現状で満足してしまう心配はないか。

保護者代表の方からは、保護者として、子供が日々の学習に困らない程度の「分かる」があれば良いのかなと感じる。現在、学習が分からなくてすごく困っている様子ではないため、「分からない」ではないと思っているというご意見をいただきました。

また、地域の方からは、地域としては、学校や子供たちの方向性や弱みを、先生として掴んでいることが大切だと感じる。小さな子供たちが楽しく学校へ行き、おいしく給食を食べてくれたら嬉しいと感じるというご意見もありました。

「分かる」とは、各学習の基礎基本となる知識理解と、子供自身の課題解決（ここを解きたい！解決したい！知りたい！等）によるものがあります。そのため、本校では、自分なりの学びをもち「分かった」と毎日の授業を楽しむ子供たちの姿が見られます。「研修テーマ『～たい』が育つ授業」を掲げ、学びを楽しみ、「～たい」（やってみたい、調べてみたい、友達の考えも聞いてみたい等）をもって自分なりの「分かった」を得られる子供が多い結果と捉えることができます。

また、教員の数値から分かるように、子供たちを見守り支える教員にとっては、一人一人の子どもの「分かった」を大切にすると同時に、その学年で付けたい知識理解を身に付けるための学習を常に意識しています。そのため、数値は、そう思う0%、大体そう思う77.8%となっています。この数値には、全ての子供がその学年に必要な知識を付けて進級し、次の学年でも学びを積み重ねていってほしいという願いをもちながら、3月末までできる限りの学年のまとめや復習が必要であるという切実な思いが表れています。

かけ算九九、ミシン、体育等、先生方の手が回らない学習についてボランティアを募ってはどうか。

本年度は、吉原北中家庭科専科の望月教諭が、5・6年生の家庭科に入り授業を行っています。また、本校に教育実習に来ていた学生の山本さんが、毎週月曜日に体育を中心としたボランティアとして各学年に入っています。来年度も、子供たちの必要に応じて、計画的に募集させていただきたいと思います。

学校の樹木伐採計画や清掃、各学年のボランティアが必要になる取り組みについては、年間ボランティア計画があると、自分の得意不得意が分かりやすく、参加者を募りやすいのではないかと考えています。次年度もご協力をよろしくお願いいたします。



【本校教員の学校アンケート結果】

A:そう思う B:だいたいそう思う C:あまりそう思わない D:まったくそう思わない（割合はA+B）

	質 問 項 目	前期割合	後期割合	
1 GD	子どもたちは、学校生活を楽しんでいる。	100	100	
2	子ども自身が自分のよさに気付くことができるような意図的な関わりをしている。	100	100	
3	子どもたちは、小中一貫教育目標「自分らしくともにかがやく」に向けて成長している。	100	100	
4	子どもたちは、重点目標「『いいね!』をひろげよう」に向けて成長している。	100	100	
5	地域のひと・もの・こととの関わりを深めている。	88.9	90	↑
6	学年便りなどで、子どもの様子をタイムリーに伝えている。	88.9	100	↑
7 GD	子どもたちは、学校ですすんで挨拶をしている。	66.7	50	
8 GD	子どもたちは、授業の内容をわかっている。	77.8	77.8	
9 GD	子どもたちは、学校や家庭で読書に親しんでいる。	77.8	66.7	
10 GD	子どもたちは、家庭学習の習慣が定着している。	88.9	88.9	
11 GD	子どもたちは、外遊びや体力づくりを楽しんでいる。	88.9	70	
12 GD	子どもたちは、自分の体の状態を自分で言うことができる。	77.8	88.9	↑
13	子どもたちは、友達の考えを温かい気持ちで聞いている。	100	100	
14	子どもたちは、自分の考えをノートに書いたり、発表したりできる。	77.8	100	↑
15	子どもたちは、人のためになる仕事を進んでしている。（ボランティアなど）	100	100	
16	子どもたちは、時間をしっかり守っている。	88.9	100	↑
17	子どもたちは、忘れ物をしないように準備をしている。	88.9	75	
18	子どもたちは、片付けや掃除をしっかり行っている。	88.9	100	↑
19	ICT機器を授業で活用している。（タブレット、プロジェクター、電子黒板）	100	100	
20	給食時間や教科等において、計画的・継続的に食に関する指導を推進している。	88.9	70	
21	子どもたちは、緊急時に自分の命を守るために考えて行動することができる。	88.9	77.7	
22	本校研修（校内・4校合同研）は、授業実践等に役立っている。	100	100	
23	業務改善に意識して取り組んでいる。	88.9	100	↑

GDは、グランドデザインで、数値目標として掲げている項目です。

子供たちにとってより良い学校にしていくために、本校職員一同、一層力を入れて取り組んでいきます。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

